登録No.　S-119
登録名　dose-dense Paclitaxel療法
催吐性リスク　軽度
適応疾患　乳癌
投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン ﾏﾚｲﾝ酸ｸﾛﾙﾌｪﾆﾗﾐﾝ 生食	20mg/body 16.5mg/body 5mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	ペグフィルグラスチム併用
Rp.2	パクリタキセル 生食	175mg/m^2 500mL/body		d1	d.i.v.	3hr	粘調度高いため、輸液総量の1.6倍量をDrip-eyeに設定
Rp.3	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	パクリタキセルフラッシュ用

1クールの期間　2週間
標準クール数　4サイクル
最大クール数
休薬期間の規定
投与間隔短縮の規定
その他（副作用・PS規定等）

PS：0-1
パクリタキセル投与前H_2blocker、デキサメタゾン、マレイン酸クロルフェニラミン投与
副作用：骨髄抑制、下痢・便秘、末梢神経障害、心毒性、爪障害、脱毛など
パクリタキセル初回投与時、心電図モニター
メンブランフィルター（0.22μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与。
※ペグフィルグラスチム併用（パクリタキセル施行後、24時間以降72時間以内）